

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称（製品名）	Versaprint™ V300 Black Ink
製造元	Weber Marking Systems GmbH
住所	Maarweg 33, 53619 Rheinbreitbach, Germany
電話番号	+49 (0) 2224 7708-0
担当者（作成者）	カスタマサービス
メールアドレス	info@webermarking.de
緊急連絡電話番号	24-hour-Emergency-Telephone-Number (Company/Contract ID code: "BSU") +1 872 5888271 (BSU)
SDSパート番号	900-0061-01
推奨用途及び使用上の制限	
推奨用途	印刷用インク。
使用上の制限	知見なし。
整理番号	05リビジョンR

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	GHS分類基準に該当しない。	
健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分2A
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)	区分3
	水生環境有害性（長期間）	区分3

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語	警告
危険有害性情報	強い眼刺激。 長期継続的影響によって水生生物に有害。

注意書き

安全対策	取扱い後はよく洗うこと。 環境への放出を避けること。 保護眼鏡／保護面を着用すること。
応急措置	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
保管	避けるべき物質の近くに保管しない。
廃棄	内容物／容器を地域／地方／国／国際規則に従って廃棄すること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

重要な徴候	重度の眼刺激。 症状には、刺すような痛み、流涙、充血、はれ及び眼のかすみなどがあります。
非常事態の概要	強い眼刺激。 水路に排出されると環境に対して危険である。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

官報公示整理番号

成分	CAS番号	化審法	安衛法	含有量 (%)
ブトキシトリグリコール	143-22-6	(2)-436、 (7)-97	(2)-436、 (7)-97、 2-(8)-188	20-29.9

化学式

C10-H22-O4 (143-22-6)

組成情報

成分がガスでない限り、全ての濃度は重量パーセントである。ガス濃度は容量パーセントである

4. 応急措置

吸入した場合

呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 症状が悪化したり継続したりする場合は医師に連絡する。

皮膚に付着した場合

皮膚を流水/シャワーで洗うこと。 刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。

目に入った場合	直ちに多量の流水で最低15分間眼を洗浄する。コンタクトレンズをしていて容易に取り外せる場合は取り外す。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。大量に飲み込んだ場合は、直ちに毒物管理センターに連絡する。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	重度の眼刺激。症状には、刺すような痛み、流涙、充血、はれ及び眼のかすみなどがあります。
応急措置をする者の保護	医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。
医師に対する特別な注意事項	一般的な処置および症状にあわせた適切な治療を施す。被災者の観察を続ける。症状は遅れて出てくることがある。

5. 火災時の措置

消火剤
使ってはならない消火剤
火災時の特有の危険有害性
特有の消火方法
消火を行う者の保護
一般的な火災の危険性
特定の消火方法

粉末消火剤。泡消火剤。二酸化炭素（CO2）。
消火に水噴射をしない。これは火災を拡散することになる。
火災の際は健康に有害なガスが生成されることがある。炭素酸化物、窒素酸化物。
危険でなければ、火災区域から容器を移動させる。
火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用しなければならない。
火災にまきこまれた場合は燃焼する。熱により容器が爆発することがある。
通常の消火手順を用いる。影響を受けた他の物質の有害性を考慮する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。こぼれやもれが起きている場所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させる。清掃中は適切な保護具および防護服を着用する。適切な保護衣を着用せずに、壊れた容器または流出物に触らない。十分な換気を確保する。流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。個人用保護具については、本SDSの項目8を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。全ての環境流出に該当する管理または監視要員に通知すること。安全を確認してから、もれやこぼれを止める。下水や水路、地面に排出しない。

封じ込め及び浄化の方法及び機械

水を噴霧し、蒸気を減少させるか蒸気雲の流れの向きを変える。製品を排水施設に流してはならない。

大量の漏出：リスクを伴わずに可能なら、物質の流れを遮断する。可能な場合は漏出物をせき止める。プラスチックのシートで覆い、拡散を防止しなければならない。パーミキュライト、乾いた砂または土に吸収し、容器に収納する。製品回収後、その付近を水で洗い流す。

少量の漏出：吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。残った汚染を取り去るには、床を徹底的に清掃すること。

絶対に流出物を元の容器に回収して再使用してはならない。廃棄物処理については本SDS第13項を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策（局所排気、全体換気等）

適切な換気を行う。

安全取扱い注意事項

眼に入らないようにする。長時間の接触を避ける。適切な保護具を着用する。取扱い/保管は慎重に行うこと。環境への放出を避けること。産業衛生に気を配る。

接触回避

強酸化剤。

適切な衛生対策

本物質を取り扱った後、飲食や喫煙をする前に手を洗うなど、常に適切な衛生措置をとる。汚染物質を取り除くために定期的に作業衣と保護具を洗う。

保管

安全な保管条件

保管温度：4と49° Cの間 容器を密閉しておくこと。混触危険物質（本SDS第10項を参照）から離して保管すること。

安全な容器包装材料

元の容器に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度（暴露限界値）および管理濃度

含有成分に関して暴露限界は設定されていない。

設備対策

適切な全体換気を行わなければならない。換気回数は状況に合わせる。暴露限界値が設定されている場合は、密閉装置、局所排気装置その他の装置により、空气中濃度を暴露限界値以下に保つ。暴露限界値が設定されていない場合も、空气中の濃度を適切な濃度以下に抑える。洗眼設備を設置する。

保護具

呼吸器の保護具

換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。

手の保護具

適した耐化学薬品性の手袋を着用しなければならない。適切な手袋は、手袋の専門業者に推奨してもらうこともできる。

目の保護具

サイドシールドのついた安全眼鏡（またはゴーグル）を着用する。

皮膚及び身体への保護具

適切な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物質の状態

液体。

形状

液体。

色

黒色。

臭い	なし。
pH	6 - 7
融点・凝固点	< -10 ° C (< 14 ° F)
沸点、初留点と沸騰範囲	> 148.9 ° C (> 300 ° F)
引火点	> 110.0 ° C (> 230.0 ° F) Pensky-Martens クローズドカップ法
燃焼性（固体、ガス）	該当しない。
燃焼又は爆発範囲	
燃焼範囲一下限 (%)	データなし。
燃焼又は爆発範囲一上限	データなし。
爆発下限界 (%)	データなし。
爆発上限界 (%)	データなし。
蒸気圧	データなし。
蒸気密度	5.5 （空気 = 1） 推定値
蒸発速度	< 1 （酢酸n-ブチル = 1）。
比重	1.09
溶解度	
水溶性	水にわずかに溶ける
n-オクタノール／水分配係数	データなし。
自然発火温度（発火点）	データなし。
分解温度	データなし。
粘度（粘性率）	50 - 60 cP
その他の情報	
爆発性状	爆発物でない。
酸化能力	酸化性でない。
揮発物濃度	< 90 % 推定値

10. 安定性及び反応性

反応性	本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。
化学安定度	通常状態で安定。
危険有害反応可能性	一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。
避けるべき条件	過剰加熱。 混触危険物質との接触。
混触危険物質	強酸化剤。 強アルカリ。
危険有害な分解生成物	炭素酸化物。 窒素酸化物。

11. 有害性情報

急性毒性	急性毒性であるとは予想されない。	
成分	種	試験結果
ブトキシトリグリコール (CAS 143-22-6)		
急性経口		
LD50	ラット	5300 mg/kg
急性経皮		
LD50	ウサギ	4 ml/kg
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	長時間の皮膚接触により一時的な刺激を起こすことがある。	
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	強い眼刺激。	
呼吸器または皮膚感作性		
呼吸器感作性	呼吸器感作性物質でない。	
皮膚感作性	この製品は、皮膚感作を引き起こすとは思われない。	
生殖細胞変異原性	本製品あるいは製品中に0.1%以上含有する成分に変異原性または遺伝子毒性があることを示すデータはない。	
発がん性	ヒトへの発がん性を分類できない。	
生殖毒性	この製品は、生殖影響または発達影響を引き起こすとは予想されない。	
特定標的臓器毒性（単回暴露）	分類基準に該当しない。	
特定標的臓器毒性（反復暴露）	分類基準に該当しない。	
吸引性呼吸器有害性	吸引性呼吸器有害性でない。	
その他の情報	健康に対する急性または慢性的な影響に関して、その他の記録はない。	

12. 環境影響情報

生態毒性	長期継続的影響によって水生生物に有害。
残留性/分解性	この製品の分解性についてのデータはない。
生体蓄積性	生体蓄積性に関するデータはない。

